

令和3年度
事業計画

社会福祉法人 緑会

緑会 理念

仁 愛	家族の身になって病める人の心を大切にする
信 頼	信頼されるに足る知識と技術を持つよう努力する
貢 献	医療・保健・福祉を通じて地域社会に貢献する

令和3年度テーマ

『サービスをとおして、地域に求められる存在となる』

基本方針

地域で暮らす人たちが、安心して暮らせる為に、私たちの持っている技術やサービスを提供するだけでなく、感染症や災害などが発生しても対応できるよう、日頃から地域と連携し、地域に求められる存在として、職員一人一人が意識を持って取り組む。

重点目標

1 フレイル（身体的・精神的・社会的衰弱）を予防する

- ・身体機能チェックとリハビリ（握力・歩行速度）
- ・低栄養の改選と口腔、嚥下機能のリハビリ

2 認知症・障がいを持つ方への対応

- ・ユマニチュード（その人らしさ）によるケアの推進
- ・大切に思っていることを相手にわかるように伝える

3 接遇マナーのスキル向上

- ・思いやりのある介護サービスの提供
- ・利用者、ご家族、地域との信頼関係の構築

実施施策

1 フレイル（身体的・精神的・社会的衰弱）を予防する

高齢者の中には、閉じこもりなどによる社会的孤立、転倒や低栄養、嚥下状態の悪化などによる身体的機能の低下、意欲や認知機能が精神的に低下するなど、フレイルに気付かず、要介護状態になる事が考えられる。そうならないためには、状態を把握し、早期発見、早期予防することが必要となる。当法人としてあらゆる機会をとおして、計測（握力・5m歩行・立ち上がり動作など）し、今までのデータを活かして見える化し、身体状態に応じた機能訓練を、専門職と連携しながら、フレイル予防に取り組む。

2 認知症・障がいを持つ方への対応

ケアすることでその人のもつ能力を奪うことなく、ケアを受ける人とケアを行う人との穏やかにその人の人間らしさを尊重し、機能の維持、向上することができる事を目的に寄り添うことが大切です。

そのためのコミュニケーションとして、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの要素から、その人の持つ特性に働きかけ、その人自身を尊重し、大切な存在であることが伝わるような「ユマニチュード」によるケアを推進する。

3 接遇マナーのスキル向上

介護職にとっての接遇マナーとは利用者やご家族の方に安心感を与え、信頼を得るためのツールであり、挨拶や言葉遣い、身だしなみはもちろん、相手の状況や気持ちを理解して寄り添う姿勢が重要となる。全職員が自身の接遇マナーを見直し、プロとして常に意識すべきスキルを身につけて利用者やご家族の方とより良い信頼関係が気付けるよう取り組む。

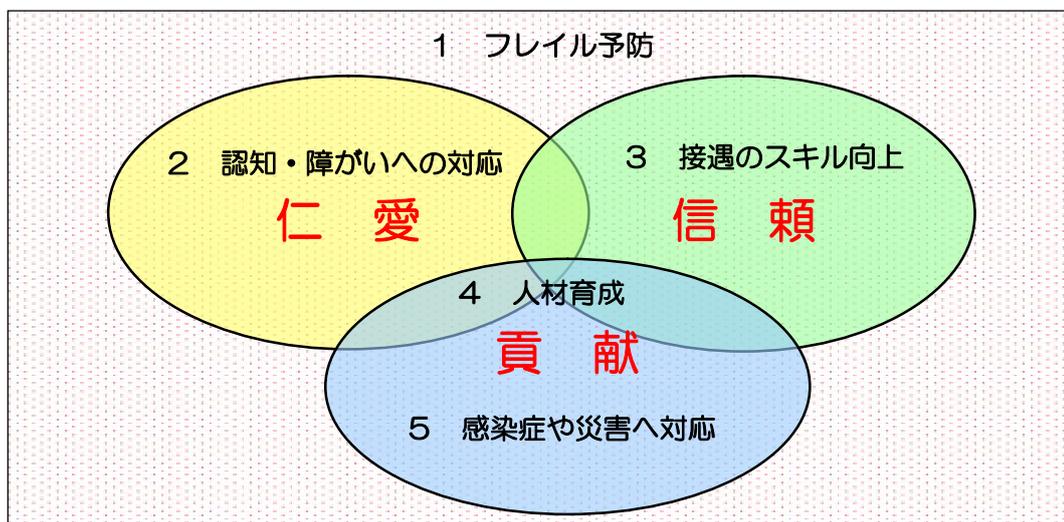
4 人材育成

「いしかわ魅力ある福祉職場認定制度」を活用し、人材の育成や職場環境の改善による連携を強化することで、サービスの質の向上や地域への発信による地域に求められる法人として役割を果たせるよう、専門職や関係機関に協力を得ながら、個々のスキルアップと併せて組織の強化につなげる。

5 感染症や災害への対応力強化

いつ起こるか分からない感染症や災害は、法人だけの問題ではなく、地域社会において大きな影響を与えます。それに対応するためには、日頃からの対策を関係機関と連携しながら、計画的に訓練や研修を行ったり、地域の人たちとつながりを持ったり、顔の見える関係づくりを日頃から構築していく事が大切です。利用者やご家族だけでなく地域社会が、安全・安心に生活できるよう、私たちの持っている介護や医療などの専門技術を活かして、提供することができるよう対応する。

事業実施図（令和3年度）



1. 令和3年度 修繕・機器入替等計画について

1. 千寿苑建物西側外壁木枠取り換え工事

(予算：2,000万円)

これまで2階修繕を実施してきたが、「木」という性質上、風水による腐食の進行が顕著化してきている。このまま放置すれば数年以内に落下事故の発生が予想されるとともに、建物法定点検において改善必要個所として指摘されることは必須である。

2. 千寿苑本館（平成14年10月竣工部分）部停電時非常照明取り換え工事

(予算：200万円)

消防法に基づき設置している非常用照明について、バッテリーの劣化による不点灯となっている機器が数多くある。危機管理上また、法令上不点灯状態を放置することはできないため取り換えを実施する。その際、LED照明との価格差があまり見られないためLED機器と付け替える。

3. 千寿苑2階・3階給茶機及びせんじゅ・千寿苑2階製氷機の入替え工事

(予算：150万円)

平成14年10月竣工時に導入した給茶機及び製氷機について、18年が経過し、メーカーの保守契約締結可能期間も終了した状態で使用している。そのため、軽微な故障の発生が多くなっており、その都度費用が発生している。また、飲用にも使用する両機器であるため、衛生管理も十分に実施できない状況となっていることから入れ替えを実施する。

2. 各種会議・委員会一覧

【 えんやまグループ 】

名 称	開催日時	内 容
法人会議	毎週木曜日 8:00～9:00	グループ内で経営や運営上検討すべき課題の検討や制度改正、雇用状況等の共通理解を深める
グループ運営会議	毎月最終火曜日 13:30～15:00	理事長以下グループ内各部署長・課長級の職員が参加し、事業運営や課題について検討する。
施設連携会議	毎月第4木曜日 16:00～17:00	病院・老健・特養・G.H等ベッドを有するグループ内施設の担当者による情報共有と処遇の検討

【 緑 会 】

名 称	開催日時	内 容
緑会運営会議	毎月最終月曜日 12:45～13:45	法人全体の経営・運営に関すること
衛生委員会	毎月最終月曜日 12:30～12:45	職員の衛生・安全・健康の確保・職場環境に関すること
千寿苑業務会議	第1・3週月曜日 12:30～13:00	施設全般の運営・管理等に関すること施設全般における業務全般・苦情に関すること
入居検討委員会	毎月最終金曜日 14:00～15:00	施設入所決定等に関すること
安全対策委員会	毎月第2火曜日 12:30～13:00	リスクマネジメントの手法を用い、業務時等に発生する事故（転倒・誤嚥・誤薬・異食・喀痰吸引、胃ろう管理、その他の事故）の防止対策と事故が発生した場合、その分析や対応、再発防止のための対策、改善についての検討、実施
合同栄養委員会	毎月第2金曜日 12:30～13:00	施設で提供する食生活全般に関すること
感染等災害対策委員会	毎月第3火曜日 12:30～13:00	各種感染症及び食中毒の予防並びに蔓延の防止対策や環境衛生等の改善についての検討、実施と、建物全体の防災計画、月例防災点検、避難訓練の計画と実施、自然災害等に備え、備蓄等災害時の対策などや、BCPの立案検討、各種訓練立案実施に関すること
高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会	偶数月第3水曜日 12:30～13:00	施設内における身体拘束の廃止及び虐待防止のための取り組みの検討、実施、年2回以上も研修開催に関すること
地域貢献活動委員会	奇数月第3水曜日 12:30～13:00	各事業所単位、法人単位、そしてえんやまグループ全体の地域活動を担当し、企画の立案や提案、地域からの依頼等の調整、夏祭りの企画運営補助、徳田・北大呑・高階地区の認知症カフェの調整・運営を行う
褥瘡対策委員会	偶数月第3金曜日 12:30～13:00	施設全般における褥瘡予防・対応に関すること

3. 各事業所別事業計画・行事等予定・研修予定

介護老人福祉施設 千寿苑

介護老人福祉施設

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I. フレイルを予防することで、利用者が普段と変わらない生活を送れる	多職種が協力連携し、担当を決めて対応する 1. 無理なく体を動かすように関わる 2. 健口体操や口腔周囲の筋肉をほぐすマッサージをするなどのケアを行い、嚥下機能の維持に繋げる 3. 他者との交流や役割など、意欲の持てるような関わりを継続する	(1)フレイル予防についての研修会を開催し、理解を深める(R3.3) (2)対象者を決めて、生活の中で体操を取り入れる (評価:9月、3月に測定) ① 立位練習を行う ② 歩行練習を行う (1)口腔機能訓練研修会を開催し、必要性を理解する(R3.3月) (2)健口体操を実施する (3)食欲チェック、嗜好調査などを行い、管理栄養士と連携を図る (1)人との交流を図り、楽しみのある生活を送れるように支援する ① したい事などを伺い、実施できるように工夫していく (買い物や外食の雰囲気味わうなど(例:千寿苑食堂)) ② 個別の関わり(パズル、軽作業、菀菜園など)	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
II. 認知症対応力の向上に努める	1. 認知症の特性や症状などについて学び、日々の対応に繋げる	(1) アルツハイマー型認知症など、頻度の多い認知症についての研修会を開催し、理解を深める (2) 研修した認知症について、事例による演習を行い、病気の違いによる対応を理解する (アンケート(9月、3月)により、研修内容の理解度を確認する) (3) ユマニチュードを意識したケアを推進 ① ユマニチュードの基本「4つの柱」について回覧後、見える所に掲示し意識に繋げる	
III. ご家族に安心していただける様な対応を心掛ける	2. コロナ禍の状況であり、ご家族様と直接的な面会ができないため、苑での状況をお伝えし、安心していただけるように努める	(1) ご家族様に苑での様子をお伝えする ① ご家族様面会時(タブレット)、苑での様子をお伝えする状態に変化のあったご家族には、職員が直接説明する。説明する際は、状況に応じた言葉遣いや笑顔での挨拶を心掛ける ② 写真に手紙を添えて郵送する(年2回)	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I. フレイル(身体的・精神的・社会的衰弱)を予防する	1. 握力測定を行い、身体機能を把握する 2. 楽しみながら活動量を増やし、心身機能の低下を予防する 3. 定期的に入居者様と家族様が会える機会をつくる	(1)定期的に握力測定を実施する(8月 2月) (2)握力測定の結果を居室に掲示し見える化を図り、多職種で情報を共有し、入居者様への支援に繋げていく (3)入居者様の意向を確認してケアプランに反映し、その内容をもとに多職種で連携をとりながら、意向に沿ったケアを展開する (4)面会支援の実施	
II. 認知症・障がいを持つ方への対応	1. 入居者様の人格を尊重し、安心して生活できるように、認知症や障がいに対する理解を深めていく 2. 地域に出向き、認知症に関する基礎知識と、認知症について理解を持つ人を増やす活動を行う	(1)職員を対象に認知症ケアについて、勉強会を年4回(5月、6月、7月、9月)実施する (2)ユマニチュード・パーソンセンタードケアの考え方によるケアの推進 (3)七尾市と調整して地域住民を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催する	
III. 接遇マナーのスキル向上	1. 入居者様、家族様、地域の方から信頼されるよう接遇マナーを身につける	(1)接遇に関する研修に参加する (2)入居者様、来所された家族様、外部(地域)の方に気持ちの良い対応を心掛ける ①笑顔で挨拶 ②状況に応じた言葉遣い(敬語・丁寧語・方言等) ③入居者様と目線を合わせて会話する ④上記①から③について年2回自己評価及び他者評価を実施する(9月 3月)	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
IV. 接遇マナーのスキル向上	1. 認知症・障がいを持たれている方の気持ちに寄り添い、接遇を意識して会話をする	(1) 施設内外の勉強会への参加 (2) 利用されている方に理解してもらえるような言葉で説明するように心掛ける	
V. 地域住民の介護力・健康寿命の向上を図る。	1. ボランティア活動に参加する中で、高齢化が進む介護に必要な体力(健康寿命)身に付けてもらうための体操や体力測定の実施と介護力の向上するための勉強会を開催したい	(1) 地域住民の身体能力の維持向上と要介護者への適切な介助方法の講習会を実施 (2) 体操を通じて、利用されている方の体力の見える化を提示して、やる気を引き出し、日常生活の一部としての体操を意識してもらう	

令和3年度年間行事等事業計画書

部署名: 入所

月	事業 (行事)	地域交流	ボランティア・見学
4月	花見 (桜) ドライブ		
5月	花見 (つつじ) ドライブ		
6月	せんじゅえん食堂	野菜畑の見学 (八幡町)	
7月	夏まつり		
8月	バーベキュー		
9月	敬老会 (運動会)		一本松公園清掃
10月	公園散歩 (ドライブ)		
11月	紅葉ドライブ		
12月	クリスマス会 (喫茶)		
1月	初詣		
2月	豆まき		
3月	おはぎ作り		

平成31年度年間行事等事業計画書

部署名： 千寿苑

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 野菜苗植え	とくだカフェ 北大吞カフェ	
5月	小学校運動会 花嫁のれん展見物	とくだカフェ	
6月	日帰り旅行（月日検討行う） 移動ショッピング	とくだカフェ 北大吞カフェ	
7月	第17回千寿苑夏祭り	とくだカフェ 八幡盆踊り	
8月	八幡子供会との交流	とくだカフェ 地区祭り参加	とくだカフェ 北大吞カフェ
9月	野菜収穫 ドライブ	一本松公園清掃作業 とくだカフェ 地区祭り参加	
10月	敬老会 クッキング（おはぎ作り） 移動ショッピング	徳田祭り とくだカフェ 北大吞カフェ	
11月	合同レク（運動会） 干し柿作り	とくだカフェ	
12月	クリスマス会	とくだカフェ 北大吞カフェ	
1月	初詣（苑内）	とくだカフェ	
2月	節分 移動ショッピング	とくだカフェ 北大吞カフェ	
3月	ひな祭り会	とくだカフェ	

令和3年度 施設内研修予定表

部署 _____ 入所 _____

開催日	研修内容	場所	参加職員
3月	フレイルとは 口腔機能向上の支援について	2. 3階ダイニング	入所職員
4月	食中毒について	〃	〃
5月	認知症（アルツハイマー型）について	〃	〃
6月	認知症（レビー小体型）について	〃	〃
7月	認知症（血管性）について	〃	〃
8月	身体拘束 ※委員会と連動	〃	〃
9月	認知症（全側頭型）について	〃	〃
10月	感染症（インフルエンザ、ノロウイルスなど）	〃	〃
11月	心肺蘇生	〃	〃
12月	看取り	〃	〃
1月	職員の倫理、プライバシー	〃	〃
3月	身体拘束 ※委員会と連動	〃	〃

令和3年度 施設外研修参加予定表

部署 _____ 入所 _____

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修	石川県	未定	織平あゆみ・西田真美栄 源内望美・田中志乃 ※現場の状況をみながら
未定	高齢者虐待防止研修	〃	未定	身体拘束委員
未定	身体拘束廃止推進員養成研修	〃	未定	〃
未定	感染予防	〃	未定	感染委員
未定	無資格の職員のための認知症研修	〃	未定	介護職員
未定	介護支援専門員更新研修	〃	未定	北野和子
未定	認知症介護実践研修	〃	未定	村尾静香
未定	介護支援専門員専門研修過程Ⅱ	〃	未定	達 一樹
未定	接遇研修	未定	未定	小林 直樹 達 一樹
未定	権利擁護	未定	未定	宮本 靖也 達 一樹
未定	進行させない拘縮予防と有効なポジショニング	高齢者施設看護師会	未定	松田陽司
未定	傾き・ずり落ち食事の不良姿勢に有効なポジショニング	高齢者施設看護師会	未定	松田陽司

デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

通 所 介 護

七尾市介護予防・日常生活総合事業

令和3年度テーマ：『フレイルの予防(見える化)、認知症・障害を持つ方への対応』 部署：デイサービスセンターせんじゅ1

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>1. フレイルを予防する</p> <p>2. 認知症、障害を持つ方への対応</p>	<p>1. 身体機能チェック</p> <p>2. 機能訓練</p> <p>3. 低栄養の改善と口腔・嚥下機能のリハビリ</p> <p>4. ユマニチュードを取り入れる</p>	<p>(1) バーセルインデックス測定（4月・10月）</p> <p>(2) 握力測定・5m歩行・立ち上がり時間を測定（3か月毎）</p> <p>(1) 機能訓練加算を算定し、個々の能力に応じた機能訓練</p> <p>(2) レクリエーション時・食前に体操を実施する。</p> <p>(3) 帰宅前にDVDを使用し、体操を行う</p> <p>(1) 昼食前に嚥下体操を行う。口腔ケアの実施。</p> <p>(2) 採血データの確認、毎月の体重測定、食事摂取量確認を行い、随時多職種で相談し、対応を検討。CMにその都度報告し、ご家族、主治医にも情報提供</p> <p>(1) ケアの準備—すぐにケアの話をせず、「あなたに会いにきた」というメッセージを伝える</p> <p>(2) 見る—20cmの距離を意識し、笑顔で水平に目を合わせる</p> <p>(3) 話す—ゆっくりとポジティブな言葉で、優しいトーンで話し、「これから腕を洗いますね」など、言葉をかける</p> <p>(4) 触れる—ゆっくりと手のひら全体で背中などに優しく触れる</p> <p>(5) 立つ—歯磨き・更衣などの時に、40秒間立位保持の機会を増やし、1日20分を目標に立っている時間を作る</p> <p>上記の項目ができているか、3か月ごとに自己評価を行う</p>	

令和3年度テーマ：『フレイルの予防(見える化)、認知症・障害を持つ方への対応』 部署：デイサービスセンターなでしこ1

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
3. 接遇マナーのスキル向上	1. 全職員が接遇マナーを見直し、改善をめざす	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生活歴・習慣・趣味・性格などの背景に着目し、利用者様が何を必要としているか、何を求めているかといった心理的ニーズを理解する (2) ご家族様と情報の共有をはかり、ご家族様の気持ちや介護負担を理解し、思いやりを持って接する (3) 本人様・ご家族様・地域の方に信頼を得るため、ケアの統一や知識・技術の向上、情報共有を行う (4) 施設の機能を地域に知っていただくため、利用者様が作成したティッシュカバーやモップなどの作品を地域に配布(徳田敬老会にお届け) (5) 介護豆知識を掲載したほほえみだよりを地域に届け、地域で高齢の方を支える (6) 接遇マナーについて、毎月のスローガンを掲示・唱和する 	

令和3年度テーマ：『フレイルの予防(見える化)、認知症・障害を持つ方への対応』 部署：デイサービスセンターなでしこ2

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I フレイルを予防する	1 身体機能チェック 2 機能訓練 3 低栄養の改善と口腔、嚥下機能のリハビリ	(1) バーセルインデックス測定（4月・10月） (2) 握力測定・5m歩行速度測定（3か月毎） (1) レクリエーション時に体操を実施する。 (2) バーセルインデックス・筋力測定値を比較し、悪化している方を対象にプログラムの見直しを行い、ADL低下を防ぐ (1) 帰宅前にDVDなどを活用し、体操を行う (2) 昼食前に嚥下体操を行う。唾液腺マッサージ実施（できない方は介助する） (3) 採血データの確認、毎月の体重測定、食事摂取量確認を行い、随時多職種で相談し、対応を検討。CMにその都度報告し、ご家族、主治医にも情報提供	
II 認知症、障害を持つ方への対応	1 ユマニチュードを取り入れる	(1) ケアの準備—すぐにケアの話をせず、「あなたに会いにきた」というメッセージを伝える (2) 見る—20cmの距離を意識し、笑顔で水平に目を合わせる (3) 話す—ゆっくりとポジティブな言葉で、優しいトーンで話し、 (ア) 「これから腕を洗いますね」など、言葉をかける (4) 触れる—ゆっくりと手のひら全体で背中などに優しく触れる	
III 接遇マナーのスキル向上	1 全職員が接遇マナーを見直し、改善をめざす	(1) 立つ—歯磨き・更衣などの時に、40秒間立位保持の機会を増やし、1日20分を目標に立っている時間を作る 上記の項目ができていないか、3か月ごとに自己評価を行う ① 空き情報を各事業所に公表し、なでしこの魅力を微笑みだよりで発信していく。 ② 接遇マナーについて、毎月のスローガンを掲示・唱和する	

令和3年度年間行事等事業計画書

部署名： せんじゆ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯		
5月	新緑ドライブ 母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯		
6月	初夏ドライブ あじさい湯		
7月	せんじゆ納涼祭 笹の葉湯		
8月	せんじゆ夏祭り ひまわり湯		
9月	敬老会 敬老マッサージ りんどう湯	一本松奉仕作業	
10月	運動会 紅葉ドライブ オリーブ湯		
11月	文化祭 紙すき さざんか湯		
12月	忘年会 柚子湯		
1月	初詣 松湯		
2月	節分の集い 梅湯		
3月	ひな祭りの集い 早春ドライブ 菜の花湯		

令和3年度年間行事等事業計画書

部署名： なでしこ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯		
5月	母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯	介護予防グループ「元気かみゆ」 白馬様との交流会	
6月	あさひ保育園児との交流会 あじさい湯	あさひ保育園児との交流会	
7月	初夏のドライブ 笹の葉湯	千寿苑夏祭り	
8月	なでしこ夏祭り ひまわり湯		
9月	敬老会 敬老マッサージ りんどう湯	一本松奉仕作業	
10月	運動会 あさひ保育園児との交流会 オリーブ湯	徳田祭り あさひ保育園児との交流会	
11月	紅葉ドライブ さざんか湯		
12月	忘年会 柚子湯		
1月	初詣 松湯		
2月	節分の集い 梅湯		
3月	ひな祭りの集い 菜の花湯		

令和3年度 施設内研修予定表

部署 せんじゆ・なでしこ

開催日	研修内容	場所	参加職員
5月	職業倫理とプライバシー保護について	デイルーム	全職員
12月	災害に備えて(防災委員)	デイルーム	全職員
11月	身体拘束廃止について(身体拘束廃止委員)	デイルーム	全職員
10月	感染症予防研修(安全・感染対策委員)	デイルーム	全職員

令和3年度 施設外研修参加予定表

部署 せんじゆ

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
12月	コミュニケーション技法実践研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	宮本
5/21、6/24、7/16 8/5、8/6、9/4	対人援助技術講座	石川県社会福祉協議会	県社会福祉会館	大橋
未定	福祉サービス総合研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	百谷
11/20	福祉の仲間づくり研修	石川県社会福祉協議会	石川県庁	塚林
8/18、19 11/10、11	OJT指導者養成研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	素波
8/6	ストレスマネジメント研修	石川県社会福祉協議会	金沢歌劇座	戸間
7/28、29 8/27、28	リスクマネジメント実践研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	大嶽
6/10、11、7/9、10 7/30、31、9/10、11 10/20、21、11/19、20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程初任者研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	中江田

令和3年度 施設外研修参加予定表

部署 _____ などでし_____

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	福祉サービスに関する苦情解決研修	石川県社会福祉協議会	金沢市内	高山
5/21、6/24、7/16 8/5、8/6、9/4	対人援助技術講座	石川県社会福祉協議会	県社会福祉会館	永松
未定	福祉サービス総合研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	山辺
11/20	福祉の仲間づくり研修	石川県社会福祉協議会	石川県庁	高宮
8/18、19 11/10、11	OJT 指導者養成研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	山本
8/6	ストレスマネジメント研修	石川県社会福祉協議会	金沢歌劇座	戸間
春か夏	認知症介護実践研修・実践者研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	政島
6/10、11、7/9、10 7/30、31、9/10、11 10/20、21、11/19、20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程初任者研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	中倉
	県デイサービスセンター協議会職員研修			坂井
5/26、7/20	高齢者の「いつもと違う」を看護に生かす	石川県看護協会	Zoom ウェビナー（講義）	嶽・蔵本

介護老人福祉施設 千寿苑
デイサービスセンター せんじゅ
デイサービスセンター なでしこ

栄 養 課

和3年度テーマ：『フレイルの予防(見える化)、認知症・障害を持つ方への対応』

部署： 管理栄養士

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
I. フレイルの予防	1. 栄養状態の維持・改善。	(1) 食思、摂取量、BMI、Alb 値、体重減少率、上腕三頭筋部皮厚などで栄養状態を見える化し、栄養ケアにつなげる。 (2) 口腔内の状態や摂食機能の把握。 (3) 低栄養状態改善への取り組み強化にむけて業務を見直す。	
II. 認知症・障がいを持つ方への対応	1. ご利用者様、ご家族様の思いに寄り添い、栄養ケアを実施する。	(1) 嗜好調査。 (2) ご利用者様の身体・摂取状況に合った食事提供。 (3) ご利用者様、ご家族様の意向確認。 (4) コロナ禍でも利用者様に喜んでいただくため、クリニックと連携し、イベント食や季節を感じる食事提供に努める。	
III. 接遇マナーのスキル向上。	1. 人として、専門職として誠実に対応する。 2. 知識や技術の向上に努める。	(1) 目線を合わせて丁寧な言葉遣いで会話する。 (2) わかりやすく、的確に伝える。	
IV. 感染症や災害への対応強化	1. 緊急時の体制を整える。	(1) 備蓄食品提供マニュアルの周知と見直し。 (2) 備蓄食品提供訓練の実施計画を立てる。	

令和3年度 施設外研修参加予定表

部署 _____ 事務所（管理栄養士）

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	生涯学習研修会	石川県栄養士会	未定	管理栄養士
未定	石川県糖尿病療養指導士研修会		未定	管理栄養士
未定	スキルアップ研修		未定	管理栄養士

グループホーム やくしの里

認知症対応型共同生活介護

介護予防指定認知症対応型共同生活介護

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
II ユマニチュードによるケアの推進	1.入居者の方を見る 2.入居者に積極的に話しかける 3.入居者の方に触れる 4.立つ時間を増やす 5.回想法を取り入れ入居者同士、入居者と職員を繋ぐ	(1)入居者の方と同じ高さの目線に合わせる (2)入居者の方に話しかけられたら相手のいる向きに変える (1)職員からの積極的な声掛け、1日1回椅子に座り話す時間を作る (2)ケアをするときに実況する(丁寧な説明)声掛け (1)介助前後、お手伝い前後の声掛けとスキンシップを行う 入浴後のマッサージを下肢の浮腫みに対して行う (1)デュアルタスク(ながら運動) 立ち仕事をしながら、しりとりや九九の計算。立位からの踵上げ (1)御家族に依頼し定期的に紹介文を付けた写真の掲示 紹介文は本人、または家族に協力頂く。併せて職員の写真も掲示 (2)懐メロ等の歌番組の視聴 テレビ番組からの録画だけでなくYouTubeを利用しピンポイントで視聴したいものを提供 3)カラオケ大会の定期的実施	年4回 月1回
III 接遇マナーの向上	1.接遇マナーのスキル向上を目指す	(1)職員同士での身だしなみチェック (2)言葉遣い、入居者の方への態度を職員同士で評価と改善 介護接遇マナー目標シートによる自己評価 リーダー育成シートにより管理者の自己評価	年3回

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
IV 人材の育成と職場環境の改善	1.施設内外の研修とリモートを活用した研修の取り入れ 2.職場環境の改善	(1)ミーティング時間を利用した施設内研修の実施とグループで開催される研修への参加 (2)介護労働安定センターからの講習会、セミナーの案内 (1)年間有給休暇5日の必達+疲れが溜まらない小刻みな有給休暇の取得 (2)申し送り時、ミーティング時に労働環境の改善の話し合い (3)年2回個人面談を実施し業務、個人の意見の取り入れ (4)体調不良による休暇はシフトのチェンジと代理出勤職員へ休暇付与	開催時 随時 年2回 随時
V 感染症や災害への対応力強化	1.感染症への対策をすることで継続的に介護サービスを提供する 2 災害への備え、訓練をすることで継続的に介護サービスを提供する	(1)コロナウィルス感染予防の継続 職員：出勤時、体温と酸素濃度測定、うがい、マスク着用。 休日行動把握。 入居者：毎日、体温の測定と酸素濃度測定 家族：来所持、体温の測定、マスクの着用 (2)MRSA保菌者への対応 保菌者食器の消毒と別洗浄。テーブル、洗面台、手洗い場の消毒 毎日の床掃除 (1)年2回、火災避難訓練を日中と夜間想定で実施 (2)断水時 (3)停電時 (4)地震発生時を想定した訓練 (5)備蓄品を使用した調理の提供(災害食)	毎日 面会時 年2回 年1回

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
VI コロナ禍での 取り組み	1.コロナ禍の状況の中で入居者の方に喜んでもらう ために職員全員がかかわり実施する	(1)七尾市内の飲食店よりテイクアウトで昼食の提供 (2)緑会内で情報交換し、レク材のやりとり ペタンク、紙芝居、パズルなど (3)グループ内でのデッドストックになっている備品を情報交換し活用 滑車、シャワーチェアー、足浴機など (4)畑の面積拡張と備品の整備 (5)ネット環境の整備による余暇時間の充実 (6)入居者個々の希望による物づくり(人形・編み物など)	年1回

令和3年度年間行事等事業計画書

部署名： やくしの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学・その他
4月	花見（中道）	大泊朝市	
5月	避難訓練（福井）	大泊朝市	S11.5.21 松田米子様 84歳
6月	菖蒲湯（林） ワックスがけ	大泊朝市	S6.6.21 大野久直様 84歳
7月	七夕まつり（橋本） 水羊羹作り（竹本）	大泊朝市	
8月	花火（福井） 流しそうめん（橋本）	大泊朝市	田鶴兵衛高校介護実習（中道）
9月	お彼岸おはぎ作り（杉本） ワックスがけ	大泊朝市	
10月	避難訓練（橋本）	大泊朝市	
11月	紅葉ドライブ（正社員全員）	大泊朝市	
12月	クリスマス会（橋本・林） ゆず湯（沢野） おせち作り（福井）年越しそば	大泊朝市	
1月	おせち料理提供 正月遊び（1～3日勤務者） 七草粥（6日夜勤者）	大泊朝市	S12.1.2 川崎八枝子様 85歳 T13.1.8 竹藤みず江様 98歳
2月	節分（橋本）恵方巻作り・豆まき 災害時訓練（竹本） 鍋パーティー（中道）	大泊朝市	S9.2.2 久保泰子様 88歳 S16.2.9 塚榮子様 81歳
3月	ひな祭り会（竹本） ワックスがけ お彼岸おはぎ作り（杉本）	大泊朝市	S9.3.22 北野京子様 88歳 S19.3.29 松本慧子様 78歳 T15.3.23 遠藤八重様 95歳

令和3年度 施設内研修予定表

部署 やくしの里

開催日	研修内容	場所	参加職員
5・8・11・2月	身体拘束委員会	やくしの里リビングルーム	全職員
	緑会、生々会における各研修への参加	千寿苑、クリニック	全職員

令和3年度 施設外研修参加予定表

部署 やくしの里

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
未定	介護支援専門員更新研修	石川県社会福祉協議会	未定	中道 信夫
未定	認知症介護基礎研修		未定	林 範子 沢野美津子
未定	認知症との関わり方 ～ユマニチュード～	介護労働安定センター	未定	橋本光治
未定	薬について楽しく学ぼう	介護労働安定センター	未定	竹本夏代
未定	自立支援介護 向精神薬に頼らないケアの実践	介護労働安定センター	未定	福井早苗

小規模多機能型居宅介護施設たかしの里

小規模多機能型居宅介護

介護予防小規模多機能型居宅介護

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
<p>I. フレイル(身体的・精神的・社会的衰弱)を予防する。(見える化)</p> <p>II. 認知症・障害を持つ方への対応</p>	<p>1. 筋力チェックとリハビリの実践と見える化。 2. 低栄養状態の確認と改善。 3. 嚥下機能のリハビリの強化 4. 口腔内の状態の確認</p> <p>1. ユマニチュード(その人らしさ)によるケアの推進 2. 大切に思っていることを相手にわかるように伝える ① ご利用者の体の状態や変化、好みを細かく把握する。 ② ご利用者1人ひとりが自分らしく生活できるよう支援する。 ③ 感染症の発生及びまん延に関する取り組みを強化する ④ 高齢者虐待防止の取り組みを強化する</p>	<p>(1) 年3回(7月、11月、3月)に握力・歩行速度・嚥下能力を確認、データ化する。年2回(4月、10月)BMIと採血データの確認を行う。 (2) 百歳体操、歩行訓練、そのほかリズム体操や嚥下体操を毎日実施する。 (3) 食後の口腔ケアの徹底をする。 (4) 四季のドライブ、観光施設の見学、施設内でのレクリエーションの実施、また地域行事があれば見学や参加をする。</p> <p>(1) 経過記録に「本人の声」を記載する。 (2) 日々の申し送りを業務日誌に記録し全職員に周知する。 (3) 自己目標表を作成し実行、評価を行う。 4月ユマニチュードについて動画研修を行う。 4月に各自自己目標を立て、5月から自己目標の実行、9月自己目標の見直しを行い10月より新たに実行、3月に最終評価を行う。 (4) 委員会の実施、指針の整備、研修会の実施、訓練(シュミレーション)の実施 (5) 委員会の実施、指針の整備、研修会の実施、担当者を定める。</p>	

目 標	計 画	方 法・取 組	備考
III. 接遇マナーのスキル向上	1. 思いやりのある介護サービスの提供を実践していく。	(1) 利用者満足度調査を実施する。 (2) 接遇勉強会を年2回程度実施する。 (3) サービス提供内容の見直し実行する。	
IV. 職員が働きやすくなるよう職場環境を整備する	1. 職員の働きやすい環境づくりのために日課の見直しをする。 2. 会議や多職種連携にICTの活用を実践する。	(1) 職員の日課の見直しとしてリーダー業務の見直し、夜勤業務の見直し、記録の見直し、調理など業務改善に取り組む。 (2) 契約書、重要事項説明書の形式を変更する。 (3) 医療・介護・利用者(同意が得られた場合)の会議を実施する場合にはリモート会議(テレビ、ウェブ等)も導入する。	
V. 施設で取り組んでいる内容を家族や地域の方にもっと知って貰い理解して頂く	1. 広報活動を通じ利用拡大を図る。 2. 地域の方に施設の体験をして頂き施設の良さを知っていただく。 3. 緊急時の宿泊ニーズへの対応。 4. ご利用者、ご家族、地域との信頼関係を構築する。	(1) 体験ランチや施設見学へのアプローチをする。(※新型コロナ感染拡大防止の目途や収束が出来た場合) (2) 9月に高階地区住民向けに広報誌を発行する。 (3) 居宅えんやま・千寿苑SS利用できない方を短期の受入の体制作りをする。 (4) 日々の施設内での行事や出来事をLINEでご家族や地域の方に発信する。またLINEのやり取りで意見や要望、申し送りなど伝えやすいようにする。	

令和3年度年間行事等事業計画書

部署名：たかしなの里

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ	カフェたかしな	
5月	青柏祭見学 新緑ドライブ 避難訓練（夜間）	カフェたかしな	朝日小学校運動会見学
6月	蕨取り 菖蒲湯	高階地区敬老会参加 カフェたかしな	高階地区体育レクリエーション大会 見学
7月	七夕まつり シェイクアウト 安浄寺お参り	カフェたかしな	
8月	家族交流会（意見交換会）	カフェたかしな	高階まつり見学
9月	足湯ドライブ おまぎ作り	カフェたかしな	
10月	避難訓練（日中）	池崎町秋の大祭 カフェたかしな	徳田まつり見学
11月	紅葉ドライブ	カフェたかしな	
12月	ゆず湯 クリスマス会 餅つき	カフェたかしな	
1月	正月遊び 法話（安浄寺住職）	カフェたかしな	
2月	節分	カフェたかしな	
3月	和倉温泉お祭り会館	カフェたかしな	

令和3年度 施設内研修予定表

部署 たかしなの里

開催日	研修内容	場所	参加職員
4月	ユマニチュード	たかしなの里	全職員対象
6月・11月	接遇マナー	たかしなの里	全職員対象
7月・12月	感染症	たかしなの里	全職員対象
8月	身体拘束・虐待	たかしなの里	全職員対象

令和3年度 施設外研修参加予定表

部署 たかしなの里

開催日	研修名	主催	会場	参加職員
7月～8月	介護支援専門員更新研修	石川県	未定	白山 千亜希
春or秋	認知症介護実践研修。実践者研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	本田 宏代
11月	認知症高齢者小規模多機能型居宅介護施設初任者研修	石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	未定

